

# お知らせ



我々南モンゴル人達は、今の中国ができる前から侵略、圧迫を何百年も受け続けてきました。しかし、存続、発展のための戦いは決して中断したことはありません。モンゴル人の自由と独立のために代々の英雄たちが熱い血を流しました。尊い命が捧げられる闘争も絶えず行われてきました。

最も基本的な人権、最低限の自治権を求めて、これを訴え続けてきたハダ氏と彼の家族、ホーチンフー女史等々は我々南モンゴル人の英雄であります。英雄がいる民族にこそ、将来があるとされます。また、自分たちの英雄を愛し、それについていくことができる民族だけに未来があります。モンゴルの英雄たちが我々南モンゴル人の心の中に生き続き、我々の精神のシンボルになり、湧いてくる力になります。

1995年12月、中国当局はハダ氏に「国家分裂罪」、「スパイ罪」などで、懲役十五年の罪を言い渡しました。ということは、この中国当局の法理によっても、2010年の12月10日にハダ氏は釈放されるはずでした。しかし、ハダ氏はいまだに内モンゴル自治区フフホト市郊外に監禁され続けています。中国当局の残酷な行為はそれだけにとどまっておらず、ハダ氏の家族にも十何年もの間、絶えず監視・迫害を加え続け、奥さんと息子を何回も刑務所に監禁したのであります。作家のホーチンフー女史も中国当局に何回も監禁され、暴行されました。現在ホーチンフー女史の両目はものが見えないほどになり、苦しんでいます。

また中国共産党政府およびその傀儡政府である内モンゴル自治区政府は、六十数年間もの間、モンゴル人のあるべき人権、自由を無視し、蹂躪し続けてきました。人権や自由を守ろうとする活動を弾圧してきました。のみならず、まるで強盗のように、南モンゴルの天然資源を強奪し、自然環境を、私たちの心の故郷である草原を破壊してきました。



こうした事態を踏まえ、われわれ南モンゴル人たちは中国共産党政府に対して、11月9日15時、駐日本中国大使館前にて抗議することを決定しました。自分たちの故郷、同胞を愛し、その苦しみを世界に訴えたい南モンゴルの将来を担う若いモンゴル人たちの参加を呼び掛けたい。同時に、人類の最も基本的な人権・平等という価値、世界の普遍的な価値観を尊重・共有し、民主主義を愛する日本の皆様の応援とご参加ををお願いする次第です。

**集合場所** 東京都港区麻布税務署前

**集合時間** 2014年11月9日14時30分に集合、15時に抗議開始。

**呼びかけ人** ウリゲン(Urgen モンゴル仏教会)

携帯電話 090-3895-5688 E-MAIL crsps636@yahoo.co.jp

ダイチン(Daichin 南モンゴル自由民主運動基金、モンゴル自由連盟党)

携帯電話 090-6237-2104 E-MAIL daichin1966@gmail.com

抗議実行委員会 2014年11月2日